

## 三河の田楽・黒沢田楽（くろさわでんがく）

種別：国指定重要無形民俗文化財

員数：1 団体

指定年月日：昭和 53 年 5 月 22 日

所在地：新城市七郷一色字黒沢地内

説明：黒沢田楽は、集落のわずか数戸の人々によって伝承されている。この田楽は、神楽の混じった田楽踊りと田楽能・猿楽能・田（畑）遊びから構成され、集落の繁栄と平和、悪霊鎮魂、五穀豊穡が祈願される。芸能は 37 の演目から成り、作物の豊作を願って種まき・耕作・収穫などの農作業やお祈りを舞や歌、所作によって擬態化している。なお、黒沢地区は水田が少ないため畑作に関するものが多い。



公開は、鍵取りと呼ばれ芸能を取り仕切る家から行列を組み、裏山の末社を祀った後、阿弥陀堂で執り行われ、1人が40分天（上）・中・地（下）、正面（祭壇）・東・南・西・北の五方に刀をかざして飛び跳ねながら舞う壮絶な「剣（つるぎ）の舞」は、見所のひとつとなっている。

例年の公開日：毎年2月第1日曜日、午前11：00～午後3時頃



黒沢田楽